



# みどり・平和・自治一途に 住みよい逗子のまちづくりを



**政策・提言力で  
議会をリード**

日本共産党 市議会議員  
**いわむろの年治**

【岩室としはる 略歴】横浜市立金沢小・中学校卒／横須賀市立工業高校建築科卒／県立鶴見職訓校／建設会社勤務／三浦民主商工会事務局員／日本民主青年同盟三浦半島地区委員会副委員長／1990年3月初当選以来、市議6期目、副議長、監査委員、議会運営委員会委員長、議会改革協議会会長など歴任。現在は総務常任委員会、基地対策特別委員会、議会運営委員会、議会報編集委員会に所属／家族 妻、長女(大学1年)、長男(高校1年)、姉(療養)／住所 逗子5-8-21

**市民の声が届く市議会へ  
ひきつづき全力で頑張ります。**

私が20代の頃、米軍住宅問題が浮上し、市民意見が二分する中で、一人ひとりの市民が問われ、「民主主義の教科書」と言われました。その市民運動は、「市民自治のまちづくり」にながかり、私自身の生き方に大きな影響を与え、40年間続く池子基地全面返還を求めるデモへ参加して34年も過ぎました。

今年4月からは消費税増税、さらに国保料連続値上げ、ごみ有料化を始め公共料金の値上げ、市民団体への減免制度廃止など、大きな負担が求められることになりました。市民のみなさんをお願いしたアンケート結果でも、6割の方が「生活が苦しくなった」と回答され、様々な負担増は市民生活に追い打ちをかけ、深刻な影響を与えるものです。だからこそ行政が一番に考えることは、市民の暮らしを守ることに思っています。私は、これまでの経験を生かし、初心を忘れずに市民の願いを市政に届け、その実現をめざし全力をつくします。

## 安倍政権の暴走と対決

**機密保護法廃止  
憲法9条をいかに**

安倍自公政権が「戦争する国にする」ために国民の声を無視して強行した知る権利、報道の自由を抑えつける秘密保護法の廃止を要求し、憲法9条をまもり生かします。

**消費税増税中止  
働く人の所得増を**

家計負担を増やし、景気悪化を深刻にする4月からの消費税8%の増税は中止を。大企業がためこんでいる260兆円の内部留保の一部を活用し、賃上げで働く人の所得を増やし、中小企業支援を提案。

**原発ゼロの日本  
再生可能エネを**

東京電力福島第一原発事故で15万人の県民が避難生活をつづけています。人類と原発は共存できません。原発再稼働、海外輸出をやめさせ、再生可能エネルギー中心の社会を。

**“ブラック企業”規制  
正社員があたりまえ**

長時間労働、残業代不払い、過酷な労働を強いる“ブラック企業”規制法案を国会に出しています。正社員があたりまえ、長時間労働、解雇規制など働くルール確立で、若者が希望のもてる社会を。

## くらし・平和・民主主義を守る政治へ 日本共産党

逗子市政・市議会では

### 建設的提案、共同提案で市議会をリード

党市議団は、子どもの医療費を小学6年生まで助成することや、市議報酬の6%削減、空き屋対策の条例、災害見舞金支給条例一部改正、最低敷地面積制度見直しや安全な逗子海岸を取り戻す決議など積極的に提案、他の党派との共同提案に力を入れ市議会をリードしています。

### 国保料値上げにノー、市民の負担軽減に尽力

家計負担を重くする応能割65%、応益割35%の国民健康保険料値上げをはじめ、公共料金値上げに反対しました。また、介護保険料の減免などを求めてきました。

### 暴言・脅かしなど無法を許さず、議会正常化へ

一部議員による議会での暴言・脅かし、侮辱発言など無法行為と断固たたかい、議会の正常化・民主的運営にとりこんでいます。米兵犯罪では、横須賀基地司令官に断固抗議しています。

日本共産党の政策・見解を紹介します。



2014年1月号外  
発行 日本共産党三浦半島地区委員会・逗子事務所  
住所 逗子市沼間2-15-4  
電話・FAX 046-871-1321

演説会 2月22日(土) 午後6時30分 さざなみホール

日本共産党 田村智子参議院議員がかけつけます